

(2) 鳥瞰図

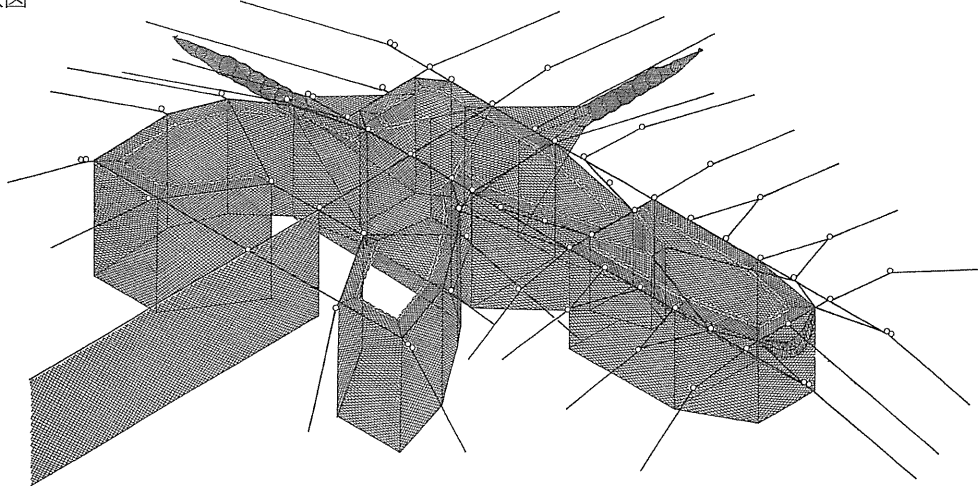


図96-2 運動場・落とし網・つぼ網

(2) 枙網類

97 小型定置網（枙網）〈西彼・大村湾編〉

調査地 琴海町大串

1) 漁具

(1) 側張図および網地展開図

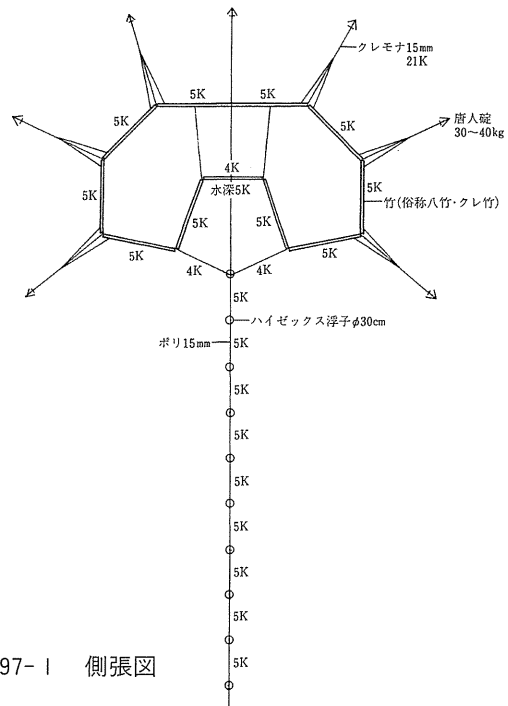


図97-1 側張図

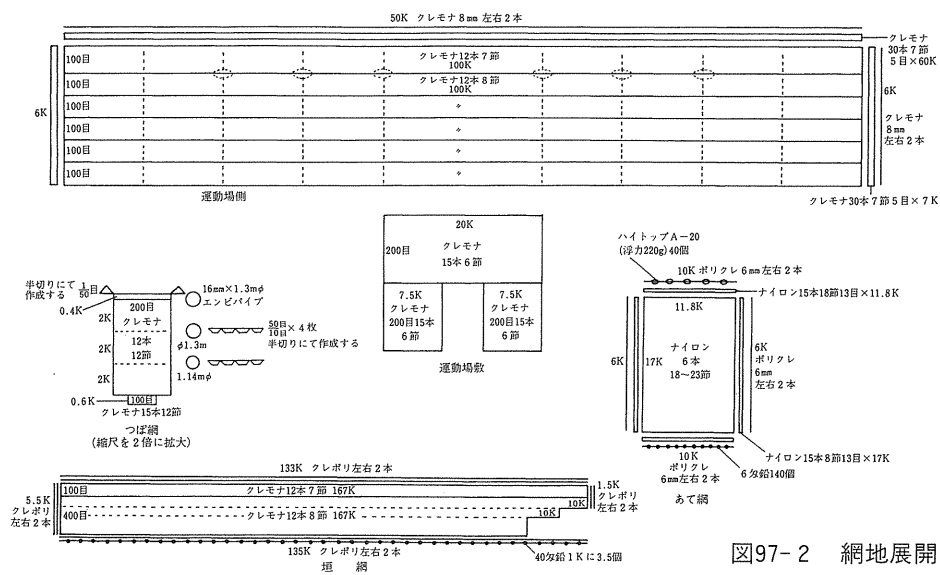


図97-2 網地展開図

2) 漁法

午前5時頃より揚網を開始する。まず入口の網を引き上げ魚の逃げ道を遮断した後、アテ網を左右どちらかの角にぶらさげ、6ヶ所のつぼに入った魚を順次漁獲する。その後つぼをゆるめたまま運動場のアテ網を下げた逆側より網起しを行い、最後の角に寄せられた魚をアテ網により抄い獲る。網起しが終了するとつぼを張り、入口を元にもどし帰港する。1日1回操業で2時間程度を要する。

3) 使用漁船および乗組員

1.08トン、9.9馬力（船外機）で2～4人で揚網する。

4) 漁期・漁場

漁期は7月～2月までで、漁場水深は入口で7.5m、底質は砂泥である。

5) 漁獲物

漁期別主要魚種は次の通りである。

- 7～9月 イボダイ、アジ（小）
- 8～11月 甲イカ、アオリイカ
- 9～1月 クルマエビ、ヨシエビ
- 11～2月 カレイ

98 小型定置網（柵網）〈西彼・大村湾編〉

調査地 大村市久原

沿革 以前から三角網と称するやせ型の柵網が操業されていたが（導入された年月は不明）、昭和40年（1965年）頃から昭和60年（1985年）当時の柵網が導入され、昭和60年（1985年）当時、当漁協地区で6ヶ統が操業している。なお三角網は昭和49年（1974年）から操業されなくなった。

1) 漁具

(1) 側張図

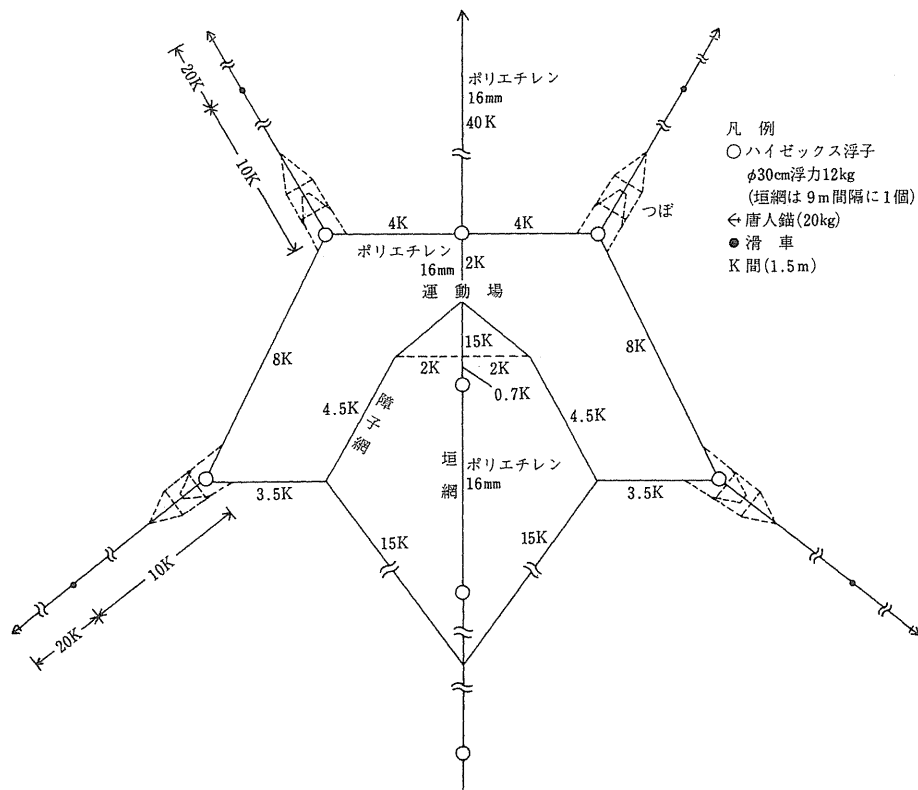


図98-1 側張図（水深4K用）

(2) 網地展開図

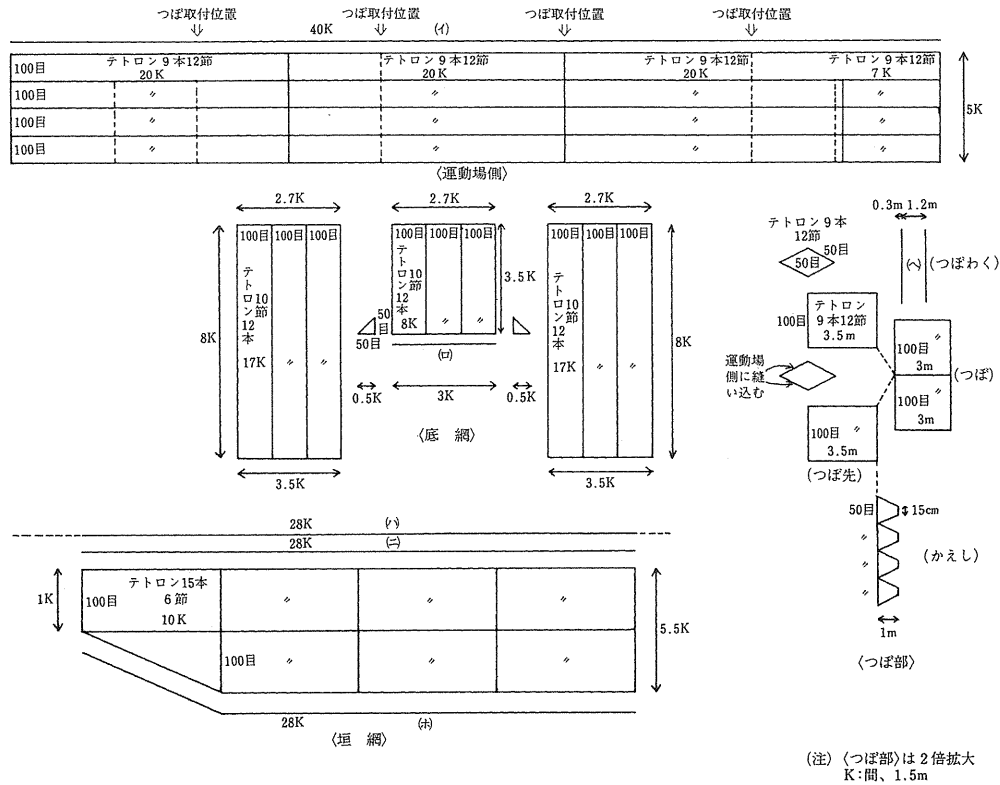


図98-2 網地展開図 (水深4K用)

(3) 漁具仕様 (一部)

表98 仕様表

(網類, 浮子, 沈子類等)

符号	名称	材質	規格・寸法	数量	備考
(イ)	運動場側張	クレポリ	6mm 40K	1組	2本1組
	運動場小浮子	合成樹脂	プロバー-N-22 (浮子215g)	150個	40cm間隔に1個
(ロ)	端口沈子網	クレポリ	5mm 4K	1組	2本1組
	端口沈子	鉛	80g	13個	50cm間隔に1個
(ハ)	垣網浮子網	ポリエチレン	16mm 28K	1本	長さは垣網部の長さ
(ニ)	垣網浮子側筋網	クレポリ	5mm 28K	1組	2本1組
	(イ)と(ニ)の連結網	〃	5mm 20cm	15組	2本1組
(ホ)	垣網沈子網	〃	5mm 28K	1組	2本1組
	垣網沈子	鉛	80g	85個	50cm間隔に1個
(ヘ)	つぼわく	エスロンパイプ	14mm φ1.3m	8本	1つのつぼに2本

2) 使用漁船および乗組員

使用漁船は1トン未満, 5~10馬力の船外機船1隻で, 通常1人で網起しをする。

3) 漁期・漁場

漁期は5月~3月までで, 盛漁期は8月から9月である。漁場は水深7m前後の集れん帯付近である。

4) 漁獲物

時期により漁獲物が異なり, その内訳は次のとおりである。

3中~4月 コノシロ, 4~5月 サヨリ・スズキ, 8~9月 スズキ・モエビ・イボダイ・アジアカエビ,  
10~11月 コノシロ・セイゴ

99 カスタニ式家族定置網〈平成13年〉

操業場所 県内全域

1) 漁具  
 (1) 側張図

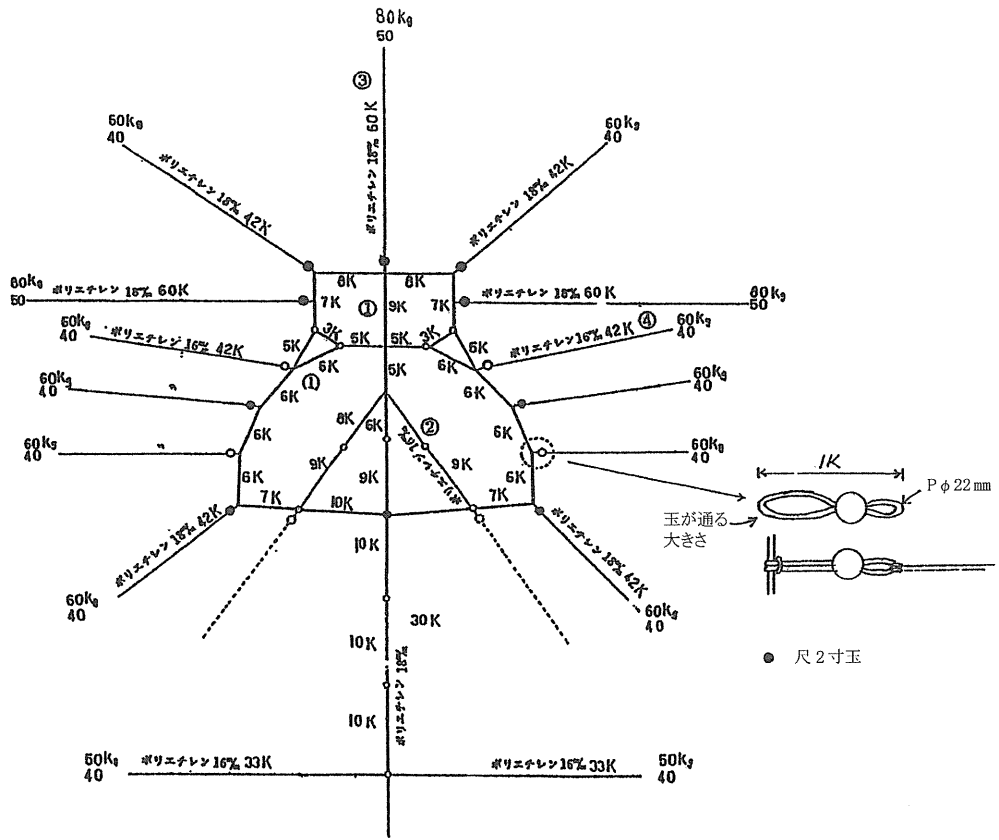


図99-1 運動場

(2) 鳥瞰図

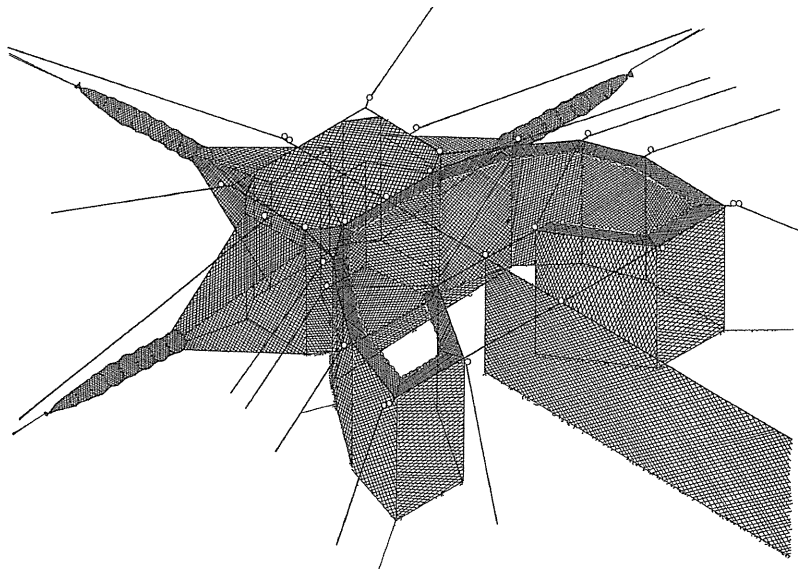


図99-2 運動場・つぼ網